

夏休み！学びのジョブ体験ウィーク

地元の企業へ飛び込んでみよう！

「気仙沼の企業では、どんな人が働いていて、どんな仕事をしているんだろう。」

夏休みに2日間ほど地元の企業に飛び込んでみませんか？ただの職場見学ではなく、ミッションを出してもらい高校生が仕事を実践的に体験できます。

「気仙沼の高校生は、地元の企業をどんな目線で見ているんだろう。」

企業にとっては、若者の視点に触れ、取り入れる機会になります。



受入企業のカテゴリ（一部）

- 水産 ● エネルギー ● 医療・福祉 ● 建設
- 製造 ● プライダール など

とある企業の体験例

DAY1



ミッションを確認 社長にヒアリング

1日目は担当者と顔合わせからスタート。「PR動画制作」がミッションの企業では、社長に会社概要について聞き、取組内容を理解するところから進めていきます。

どうしたら伝わるか、 大人と一緒に作戦会議

動画を通して伝えたい内容を考えます。参加者は動画制作の未経験者ばかり。丁寧に教えてくれるため、すぐにコツを掴むことができます。実際の作業現場に訪問して撮影を行います。



DAY2



動画の完成 企業のHPに掲載

2日目は動画の編集作業を行います。高校生ならではの視点で、協力しながら動画を作り上げていきます。完成した動画は企業のSNSやホームページに掲載されています。

高校2年生 みうなさん・造船



船を通じて水産業を支える多くの人たちの姿に感動した。一方、職人技が光る工程はご年配の方が多く後継者不足を痛感した。だからこそもっと気仙沼に興味を持ってくれる仲間を増やしたい。

高校1年生 ゆうやさん・建設



2日間で学んだことはコミュニケーションの大切さです。PR動画づくりのネタを探すためにも、まずは自分から質問して話を広げていく必要があります。仕事をする上で対話することの大切さを学びました。

地元企業経営者 米倉さん・機械メーカー

普段学校で習わないことを学ぶ機会を提供でき、社会に貢献できていると感じます。高校生がどんなアイデアを提案してくるのかワクワクしますし、事業を考えるヒントにもなりました。



地元企業部長 清水さん・水産加工

若手社員が自社の取り組みや強みを高校生に語り、ときには指導するなかで、管理者研修のような効果も得られた。次年度も高校生の受入を前向きに検討したい。

